

学校番号	14	学 校 名	静岡県立浜名特別支援学校	校 長 名	村田 健二
------	----	-------	--------------	-------	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標 「豊かな社会生活を実現できる浜名の子」

合言葉： 【 笑顔 仲間 地域 】 スローガン【 幸せを運ぶはまな 】

(2) 目標具現化の柱

ア【笑顔】子どもたちと職員が自分や周りの人を大切にし、笑顔で過ごすことができる**環境づくり**イ【仲間】恵まれた教育環境を生かし、仲間と関わりながら自ら考え行動できる**活動づくり**ウ【地域】地域資源を生かし、地域と共に学びあい、つながりあう**関係づくり**

2 本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
【笑顔】 環境づくり	安全で安心な学校生活	・災害に備える減災の取り組み	・避難生活を見据えた備蓄品の定期的な点検、避難生活想定研修が実施されている。	防災 各学部
		・自ら動く迅速な避難行動	・危機管理マニュアルの見直し 年 1 回以上	
		・避難生活を見据えた体験活動の実施	・様々な発災時に必要な避難行動を、訓練時に自ら行うことができている。	
		・病気や事故等を未然に防ぐ行動、活動、環境づくりと、緊急時の迅速な対応	・避難生活に見通しをもてる体験活動を複数組み合わせ実施している。	
		・栄養教諭と連携した食育の推進	・児童生徒が校内外で事故やけが、病気から身を守る行動がとれている。	体育保健 生徒指導 各学部
		・安全な学校生活の視点での校舎内外の安全点検と整備	・常に事故や危険防止の視点をもって環境を整えている教員 100%	
	専門性の向上	・人権教育を中心とした道徳教育の充実	・緊急時に自分がとるべき行動を理解している教員 90%	総務 事務部
		・共に高めあう研修一人一授業ペア研の実施	・児童生徒が食に関心をもち、マナーを守って食事することができている。	生徒指導 各学部
	働きがいのある職場づくり	・専門家等を招いた各種研修や校外研修等による様々な専門性の向上	・事務部との情報共有により校内で早期に対応する環境整備ができている。	総務 事務部
		・授業づくりや業務についての気軽な雑談相談	・児童生徒が、命の大切さを知り、自分や周囲の人を大切にしている。	生徒指導 各学部
		・分掌課長、学年主任者等で取り組む「やりがい向上委員会」実施	・人権教育全体計画や道徳教育全体計画に基づいた授業の充実が図れたと答える教員 100%	
		・計画的な業務の遂行による適正な時間外勤務の実行（月 45 時間 年間 360 時間以内）	・ペア同士で互いの授業を見合うことで、主体的に授業づくりに取り組み、授業改善を行うことができた教員 100%	研修 各学部
			・外部専門家等による研修を実際の指導場面等に生かすことができた教員 100%	防災 研修 学指 体保 進路 全職員
			・教員育成指標の段階に応じた研修により、専門性を高められたと感じる職員 80%	
			・日々の気軽な会話が、より良い授業づくりや円滑な業務の遂行につながった職員 100%	管理職 部主事 分掌課長 全職員
			・業務改善や教員のやりがい向上につながる取り組みを行うことができた。学年、分掌、各 1 ずつ	
			・常時 19 時、定時退勤日 17 時 30 分施錠と残留希望申し出（上限 1 時間）の徹底がされている。 100%	

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
【仲間】活動づくり	仲間との学びの中で、主体性を発揮できる授業づくり	・ 自立活動をベースとした個別の指導計画に基づいた、PDCA サイクルによる授業づくりと教育課程への反映	・ 児童生徒個々の自立活動や個別の目標に沿った活動内容と指導・支援が組まれている。 ・ 個別の指導計画が授業の計画・反省時に活用され、児童生徒の育ちにつながっている。 ・ 授業づくりの評価に基づき、教科間のつながりや学習の積み上げの視点で、年間指導計画や教育課程の見直しができている。	学習指導 教務 各学部
		・ 合わせた指導を構成する各教科等の学習内容を踏まえた授業づくり	・ 単元に含まれる各教科の学習内容を具体化し、それを受けて単元目標を設定することができた。	研修 各学部
		・ より深い学びにつながる、校内外における様々な体験的活動の充実	・ 体験的活動をとおり、児童生徒がワクワク（期待感と意欲）している姿が増えたり、仲間との関係が深まったりしている。	各学部
		・ キャリア発達に応じた授業実践とキャリアパスポートの考え方の整備	・ キャリア教育の内容を意識し、キャリア発達に応じた授業を実践した教員 100% ・ 本校における 12 年間をつなぐキャリアパスポートが整理され押さえられている。	進路指導 各学部
		・ 情報機器の適切な取扱と ICT 活用授業の充実 ・ ICT 活用の授業実践の研修や実践事例の紹介	・ 一人一台端末や BYOD 等を活用した、児童生徒が主体的で深い学びにつながる授業を、すべての児童生徒に対し、年 2 回以上実施している。	学習指導 各学部
	豊かな日常生活を育む活動づくり	・ 生涯にわたる余暇活動につながる読書・生涯スポーツ・音楽・美術等の充実	・ 生活年齢や発達段階に合わせた余暇につながる活動に、児童生徒が興味をもって自ら取り組んでいる。 ・ 家庭での取り組みへの呼びかけを実施。	学習指導 体育保健 各学部
・ 学年、学部を超えて仲間を認め合える活動の充実		・ 集会やペア学年との活動をとおり、他学部や他学年の児童生徒とあいさつを交わし合うことができるようになっている。 ・ 体育的行事や学習発表会の中でお互いの活動を知り応援することができている。	生徒指導 体育保健 学習指導 各学部	
【地域】関係づくり	地域を知り、地域を考え、地域とつながる活動の推進	・ 学校周辺の環境を知り、SDGs の視点をもって積極的に地域とつながり働きかける学習活動の充実 （研究指定）	・ 学部間の系統性がある環境教育の目標と計画をもとに、学部の実態に合った環境教育が実践されている。 ・ 地域とつながり、連携した環境学習が展開できている。	各学部 総務
		・ 地域や学校運営協議会と連携した教育活動の拡大	・ 地域住民との交流が生まれ、地域資源を活用した学習活動ができている。	各学部
		・ 「個別の教育支援計画」を活用した支援体制づくり	・ 支援が必要なケースを正しく把握し、各機関等とつながりながら児童生徒や保護者の願いに寄り添う支援をしている。	特別支援 各学部
		・ SNS、COCOO、HP 等による発信方法、内容の充実と即時の発信 ・ 計画的な作品展開催	・ 家庭や地域へ分かりやすくタイムリーな情報発信ができている。 ・ 校内作品展や校外作品展、ホームページ上の作品展等を計画的に開催している。	学習指導 各学部 総務
		・ 交流籍交流及び学校間交流の充実	・ 児童生徒が互いを知り合い、その中で自らを表現できる活動内容になっている。	特別支援 各学部
		・ センターの機能を発揮した就学前、小中高との連携と支援の充実	・ 地域の幼保園や小中高からの依頼に対して必要なサポートをすることができている。	特別支援
デジタルプラットフォームの活用	・ デジタルプラットフォーム構築に向けた組織的取組	・ デジタルプラットフォームの効果的な活用に向けての準備が整っている。 （教務 生徒 進路 体保 特支 学習）	○教務 関係分掌	